

第3分科会発表に関するアンケート（回答）

第3分科会群馬支部へのご参加ありがとうございました。限られた時間でしたが、提案発表・討議を通し、有意義な時間を持つことができました。アンケートの中から回答を要するものについて下記のとおりまとめました。

1 共同実施のグランドデザインについて

（質問） グランドデザイン決定までの流れ（どういうアンケートをとったか等）を教えてください。

（回答）

平成28年5月10日に共同実施推進検討会が発行した「学校事務の共同実施推進検討会報告書」等をもとに現状を分析し、第104回中央教育審議会答申等で求められている事務職員像と照らし合わせて策定しました。

報告書の根拠は、「学校事務の共同実施にかかわる調査」（平成26年11月1日現在）です。この調査では、県内全域の共同実施責任者に対して、「1共同実施組織の状況について」、「2共同実施における業務状況について」、「3共同実施責任者決裁等について」、「4状況に応じた共同実施の取組について」、「5共同実施の成果と課題について」、「6平成21年度調査後の取組」、「7将来の事務職員像について」の項目ごとに質問を行いました。

（質問） 10年間の取り組みに対する教職員・校長・教頭からの評価や反応はどのようなものがありますか。

（回答）

教員からの反応はまだ薄いですが、管理職からの信頼や期待は大きく、OJT等の事務職員の育成や職務分担等による職能成長等、1人職のままでは難しい部分に手が入るので良い取組だという意見が出ています。

（質問） G-PDCA サイクルの取り組み例が画像だけで見えにくかった。資料としてもらえないだろうか。

（回答）

G-PDCA サイクルの取り組み例 （資料）として掲載します。

（質問） P64 ウ Check（評価）の方向性の再確認を行う時期は決まっているか。

（回答）

年間の計画なので、Checkとして年度末にその年の取組についての評価や、次年度に向けての方向性の再確認等を必ず行います。それ以外の時期の再確認については特に決まり

はありませんが、学期ごとや半期ごとなどグループごとに時期を定めて、適宜行う必要があります。

(質問) P 6 1 ページの (2) の 4 つ目の役割についてですが、共同実施組織がサポートをすること、また事務長・中心校を核とするアピールをするとありますが、具体的にサポートをアピールとはどのようなことをされているのですか。他校の事務職員が学校運営への参画はなかなか想像がつかないです。自分もまだ 2 年目で経験が浅くこのような支援があるととてもありがたいのでぜひ教えていただきたいです。

(回答)

実際の例として、学校運営に係る取組例(当日提示)があります。効率的・効果的な職員会議の運営という学校運営上の課題に対し、事務長が職員向けに作成した研修資料や過去の実践事例集を持ち寄り、連携校でも取り組める内容を選定し、同実施でグループ員に説明・周知し、共同実施組織へも効果が波及するよう試んでいます。

同様の課題に取り組む場合でも、経験が浅い事務職員が単独で、学校運営に係る資料の作成や解決方法を導くのが難しい場合もあるかと思います。その際に、共同実施内で話し合い、事務長等が資料作成に携わることでサポートができると考えます。また、事務長名で通知や資料が提示、共同実施で共通に取り組むと言うことであれば、管理職や他の職員に対して提案がしやすくなるという面もあるのではないのでしょうか。管理職や教員へのアピール(事務室だより、共同実施事務室経営案、共同実施事務実施報告書の回覧や兼務校訪問など)についても同様です。

2 事務管理主事について

(質問) 事務長代理→管理主事→事務長というラインになるのでしょうか。管理主事の必要性として、事務長の悩み(職責や負担など)の軽減のように聞こえてきましたが、事務長代理では、管理主事の役割は担えないという事でしょうか。事務管理主事を置くことで今度はその方の抱える課題を解決する役が必要にはなりませんか。

(回答)

現行の群馬県の事務長代理では事務管理主事の役割を担うのはその権限と責任のうえからも難しいといえます。全国的に見ても、事務管理主事や事務指導主事は事務長経験者からの登用が多い状況です。研修計画や、人事管理まで及ぶ管理主事の仕事は事務長と共同実施を熟知している者でなければ難しいと思われれます。

また、発表の中で県の課題として、昇任してからの新任研修はありますが、昇任するまでに身につけなければいけない知識やスキルについての研修が少なく、系統立った研修が確立していないことを挙げました。そうした中で、共同実施の運営相談という面では、集録 P 6 9 にもあるように事務長代理の方が相談相手になることが多く、事務長の負担軽減につながっていることが分かります。

したがって、系統立った研修体系が確立していない現状では、共同実施の運営についての知識が不足した状態で相談相手という役割を担うこととなります。事務管理主事を設置し、職階に合う系統立った研修を企画・実施することにより、事務管理主事とともに事務長代理が共同実施運営の相談相手としてより力を発揮することが考えられます。

また、事務管理主事が県教委・市町村教委・教育センターに配置されることによって相互に協力・相談し合い、課題を解決しながらそれぞれの配置場所で機能することによって相乗効果が生まれ、共同実施の深化に大きく寄与することが考えられます。

(質問) 2日目のみの参加でレポートの読み込みのない中、プレゼンをお聞きしたという立場から不明な点がありました。事務長職務代理は事務職員だが、事務長は今現在誰がやっているのか。そもそもその2つの職は「共同実施組織において」ということでよいのでしょうか。群馬の共同実施は各校から集まっているとあったのですが、集まらない時も事務長職務代理という職名なのか。

(回答)

事務長も事務長代理同様、事務職員から任命されています。その職名については、共同実施においてという事ではなく、補職名としての職名であるため、共同実施以外の学校勤務のときも事務長代理という職名になります。

(質問) 今後設置について要望をしていくとのことでしたが、具体的にどこへどういう風にとこのもののビジョンがあれば教えてください。

(回答)

まだ、提案研究を終えたばかりなので、具体的な条件等を要望できる段階ではないと思います。しかし、実現するための具体策の一つとして、群事研のグランドデザインの中に「事務管理主事」を入れました。具体的な要望先としては、県教委・市町村教委・教育センターになってくるとおもわれます。

3 その他

(質問) P68のグラフを見ると地域によって実施内容が全然違うように見えてしまうが、事務管理主事導入で内容も統一していくのかそれとも地域ごとの特性として許容していくのか知りたい。討議の時間が少なすぎて自己紹介+学校の現状くらいしか話せなかった。もっと時間がほしい。

(回答)

事務管理主事の導入でP68のような地域でのばらつきは減るものと考えます。しかし、これからの学校を考えると、より学校や地域の裁量権を生かした学校経営へと移行していくことが予測されることから、共同実施ごとに経営形態が異なるのが通常になることも

予測されます。これまでの学校事務職員の定型的な業務から、子供たちの学びに深く関わりを持った業務へ移行していくことが求められているために、事務管理主事は事務長に対し「学校事務の効率化や適正化」から「子供たちの学びに深く関わる業務」へと移行する指導を行うという意味では「方向性は統一していく」といえますが、所属校や連携校で事務職員のどのような力を欲しているかにより、具体的な業務内容は当然変わるため「内容は統一できない」といえます。

(質問) 市町村教委との人事交流がある市町村はどれくらいありますか。グランドデザイン、事務管理主事大変よくまとめられていると感じ今後参考に取り組んでいきたいと思いました。ありがとうございました。

(回答)

市町村教委との人事交流は、ありません。

(質問) 共同実施による「教育活動支援」としてどのようなことを想定されていますか。

(回答)

共同実施による「教育活動支援」として今回の提案では、教員が子供と向き合うために教員の負担軽減と業務の効率化を支援として

- ① 学校徴収金の業務支援（ルールづくりとマニュアル作成、会計簿の統一化等）
- ② 教育環境の整備・充実（職員室や印刷室等の作業領域の整備、教材教具の連携校共有等）
- ③ 就学支援業務（認定申請資料作成の共有等）
- ④ 情報共有の強化（連携校間に係わる情報の共有等）の4点を想定しています。

(質問) 事務職員が人事で県教委に配置されているのは昔からですか。経緯があれば知りたい。

長野県と抱える課題が大変共通しておりました。共同実施組織のない長野県では事務職員一人一人が学校の課題解決にあたることでチーム学校の一員として学校経営参画を目指していますが、そのサポートが県事研の研究・研修・地域ブロックでの助け合いに委ねられており限界も感じているところです。

(回答)

学校事務職員が学校を形式退職し、県教委等の行政事務に採用されるのは、昭和50年代から始まりましたが、その経緯については不明です。

(質問) 事務長は誰が任命しているのか。任命権者は誰か。共同実施組織は人事異動を考慮して組織しているのか。

(回答)

任命は群馬県教育委員会で、任命権者は群馬県教育委員会教育長です。

共同実施責任者の異動は各共同実施グループに必ず1名を要するため人事異動を考慮しているといえますが、組織全体で考えると必ずしもバランスの良い編成とは言えず、組織全体で考えると必ずしもバランスの良い編成は難しいと考えられます。

(質問) 討議案内役さんは道筋をもう少し立てておいてよかったかもしれません。すき焼きの作り方がよくわからなかったので味付けが難しかったです。
新潟市は事務職員の採用が管理主事の中にありますが、市の事務がメインという事ですよ。県職員は学校事務員なのでしょうか。

(回答)

ご質問の新潟市の事務職員の業務・任用などについては、本県からの回答は差し控えさせていただきます。